

# 山梨大学附属病院小児科ボランティア「サニースマイル」

佐藤 龍一<sup>1)</sup>, 佐藤みつ子<sup>2)</sup>

SATO Ryuiti, SATO Mitsuko

## I. はじめに

小児科ボランティア「サニースマイル」は2006年11月に発足されたボランティアサークルである。現在、学内にはボランティアサークルが複数あるが、本サークルは学内(特に附属病院)内で活動している唯一のボランティアサークルである。2008年5月現在、所属部員は医学部・教育学部を合わせて30人を超えています。手続きの関係上で実際に活動を行っているのは15人程度となっている。活動は、附属病院の3階西病棟にある小児科病棟内で毎週行っているが、季節ごとに病棟で行われるイベントにも運営にいたるまで積極的に参加している。本サークル名である「サニースマイル」は「3階西病棟」の「3」と「西」に由来すると同時に、「活動を通じて子供たちに太陽のように明るい笑顔を・・・」という思いから付けたものである。最近では「花王・コミュニティミュージアム・プログラム」に助成金の申請をしたり、甲府市の他大学のボランティアサークルのコミュニティに参加したりと活動が学内から学外にも広がりつつある。2008年の1年間は病棟での活動がより質の高いものになるように努めていくと同時に、新たな活動にも積極的に参加していきたいと思っている。

## II. 現在の活動状況

現在の活動内容は、以下のように進めている。

### 1. 週3回の病棟での活動

毎週火、木、金曜日の面会時間が終了する19時から就寝する21時まで、入院している患児たちの話し相手・遊び相手になっている。保護者の方々が帰り寂しい思いをしている患児は多く、中には泣いている場合も多い。保護者の方々の代わりに私たちが入って、泣いている患児をあやして寝かしたり、患児たちのベッドの上に行ってゲームをしたり、絵本を読んだりしている。

時には多くの患児と一緒にプレイルームに集めて遊んでいる。翌月の活動日は、月末に病棟で活動している学生各人に活動可能な日にちを確認して日程調節をし、エクセルでまとめたものを学内掲示板(CNS)に掲示している。またこの活動予定表は病棟にも提出している。

### 2. 病棟主催のイベントの企画・参加

病棟での夏祭りとクリスマス会にはサニースマイルから多くの学生が参加して、患児が楽しめるように工夫しながら運営の手伝いをしている。夏祭りでは、はっぴを着て縁日の出し物を手伝い、クリスマス会に関しては企画・飾りつけ・司会進行を私たちのグループで行なっている。2008年は一昨年に引き続き、ハンドベルと子ども向けの踊りをして好評をえた。

### 3. 農園

2007年の春から病院の南側の一角に農園を借りて農園活動を始めた。農園活動は季節の花や野菜を育てることで、入院中であっても季節の移り変わりを感じてもらったり環境の美化を目的にしている。2008年にはトマト・ゴーヤ・アサガオ・キュウリを育て、収穫祭を行なうことができた。今年も気温が暖かくなる5、6月頃から農園活動を再開した。

### 4. 兄弟サポート

患児のご両親が兄弟を連れて来られたときに、面会中に兄弟の遊び相手となってお両親をサポートする活動である。活動日はアンケートによって決めているが、活動日の活動開始時間は15時からである。アンケートは病棟内に回収箱を設置し、回収している。

### 5. 定例会について

毎月一回、病棟活動について反省して活動をよりよくすることを目的にした話し合いの場を設けている。この定例会にはNPOの方が参加して下さり、患児との遊び方や接し方などについて助言をいただいている。また患児とのコミュニケーションのとり方、活動していて生じた疑問・問題点、病棟イベントの企画・準備などについて主に話し合っている。

1) サニースマイル代表医学科3年

2) 山梨大学大学院医学工学総合研究部(人間科学・基礎看護学講座): Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering (Human Science and Fundamentals of Nursing), University of Yamanashi

### III. 活動にあたって

#### 1. 参加方法及び手続き

サニースマイルに参加するには、以下のような手続きが必要になる。

##### 1) 説明会

サニースマイル所属の学生により活動内容と手続きの方法が説明される。時間は約30分くらいである。

##### 2) ボランティア申込書への記入・提出

提出された申込書は総務部に提出される。②

##### 3) 証明書の提出

①健康診断書：X線検査の結果・抗体検査の結果を記入する。

②抗体検査結果証明書：水疱瘡(水痘)、麻疹(はしか)、ムンプス(おたふくかぜ)、風疹の4つが陽性であることを証明する書類を提出する。抗体がない場合は各自でワクチンを接種してもらう形をとっている。

##### 4) 感染予防講座および手洗い実習の参加

病院スタッフの方々に依頼して、実施してもらっている。これらに加えて、冬季にはインフルエンザワクチンの接種が必要になっている。ワクチンは学内掲示板(CNS)にワクチン接種日が告知され次第、サークル参加希望者に連絡される。

以上の手続きが完了されたのを確認した後、書類を総務部に提出し引き換えに名札・エプロンを受け取る。

#### 2. 活動に際して注意していること

##### 1) 守秘義務

活動中に耳にした患児とご家族の情報を病棟外に漏洩しない。

##### 2) 感染予防

病棟外から病棟内に病原体を持ち込むことを防ぐため、体調のすぐれない日や感染症の流行時に体調のすぐれない人がいる日には活動を自粛する。冬季にインフルエンザが流行している場合は学生へのワクチンの接種と抗体検査を義務付けている。

##### 3) 安全対策

- ・子供のいるベッドから離れる時にはベッドの柵を上げてベッドから子供が転落して怪我をすることを防止する。
- ・遊具で遊ぶ際に小さいおもちゃや部品を誤って飲み込まないように注意を払う。
- ・子供が移動するときに転んで怪我をしないように細心の注意を払う。

##### 4) 医療上の問題

心臓・腎臓に疾患を持ち摂取水分量を管理されている入院患者が水分を摂取する場合は、看護師に行ってもらおう。これは心疾患・腎疾患をもつ患者の水分摂

取の管理が治療において非常に重要だからである。他にも患児のトイレの時には看護師の指示を仰ぐようにしている。

##### 5) 平等性への配慮

特定の患児ばかりに接するのではなく、複数の患者を平等に接するように常に配慮をしている。また、なにより患児が楽しい時間を過ごせるように試行錯誤しながら活動している。

最近ではサニースマイルで病棟活動用におもちゃを購入し、患児をプレイルームに集めて一緒に遊んでいる。

##### 6) 清潔さ

活動の時には清潔であることを心がけ、服装・エプロンとマスクの着用・手洗いを行なっている。

### IV. 今後の課題

兄弟サポートに関して、最近になり課題が見え始めている。兄弟サポートは患児のご両親にアンケートをとって活動日を決めている。兄弟サポートを希望して下さる方々は多い。しかし、平日は授業を受けており活動を行うことはできない。一方で兼部している学生が多く土・日は活動メンバーがなかなか集まらないという現状がある。結果として、月1回活動ができるかできないか状態になってしまっている。現在、定例会の中でこの問題に対する解決案を模索している。

2007年代表の職を引き継いで、早半年が経とうとしている。これからも様々な課題が挙がってくると思われるが、一つ一つ解決してサークル活動をよりよいものにしていきたいと考えている。

最後になりましたが、日々病棟で活動を支えてくださっている病棟スタッフの方々、小児科の杉田教授、犬飼病棟医長、NPOの五十嵐有子様、顧問の佐藤みつ子教授、総務部の小林さんには心より感謝する。